

第2回「弥富市地域公共交通活性化協議会」 議事録

日時：平成28年10月26日（水）

午後3時から

場所：弥富市 十四山支所 第4会議室
（十四山支所3階）

○議 事

1.開会

事務局 （羽飼）	・ただ今から、平成28年度 第2回弥富市地域公共交通活性化協議会を開催する。
-------------	----------------------------------------

2. 弥富市長挨拶

事務局 （羽飼）	・最初に、服部弥富市長よりご挨拶をいただく。
服部市長	<ul style="list-style-type: none"> ・大変忙しい中、協議会に各委員ご出席いただき感謝する。 ・平素は弥富市の交通行政のみならず、各般にわたり大変なご協力をいただいていることをこの場を借りて厚くお礼申し上げる。 ・きんちゃんバスの運行も平成24年から本格的に運用を開始し、この間様々な課題あるいは問題等の状況に対して、各委員の皆さま方からご意見をいただき、改善を加えてきた。今では、市民の大事な足になっていると思っている。しかしながら、まだまだ効率的な運用については課題も多いと思っている。 ・今回は海南病院に立ち寄るとか、あるいは新しく警察の仮庁舎ができるので、そういった形の中でのダイヤ改正となる。その他、次第の通りである。皆さんとご議論いただきたいと思っているのでよろしくお願いする。
事務局 （羽飼）	・本日の会議資料の確認を事務局よりお願いする。
事務局 （久野）	<p>会議資料の確認をする。</p> <p>事前にお送りした資料として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度 第2回弥富市地域公共交通活性化協議会 次第 ・資料1：ダイヤ改正について ・資料2：利用実態調査結果 ・資料3：バス停乗降者数調査結果 ・資料4：モニタリング調査結果（利用者アンケート） ・資料5：無料お試し乗車券配布結果 ・資料6：十四山地区住民アンケートについて <p>また、当日配布資料として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きんちゃんバス時刻表

	<ul style="list-style-type: none"> ・エコモビリティライフ 県民の集い 2016 ・配席表 <p>をお配りしている。不足はないか。</p>
事務局 (羽飼)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の議事については、議長の山崎先生にお願いする。

3.議題

(1) ダイヤ改正について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人 豊田都市交通研究所の山崎である。よろしく願い申し上げる。 ・議題に入る。 ・本日の議題は3つある。「(1) ダイヤ改正について」「(2) 各種調査結果について」「(3) 十四山地区住民アンケートについて」主にはこの3つである。 ・(1) (2) は報告事項である。「(1) ダイヤ改正」は、第1回協議会、その後の紙面での議決によって承認いただいた案に基づいて改正をした。今回は時刻表で最終的なダイヤを説明いただく。「(2) 各種調査結果」は、協議会の事業としていろんな調査を今年度も取り組んでいる。その結果報告になる。 ・「(1) ダイヤ改正について」事務局より説明をお願いする。
事務局 (久野)	<p>○資料1説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1「ダイヤ改正について」、と本日配布させていただいた新しいきんちゃんバス時刻表に基づき説明する。 ・前回の第1回協議会后、平成28年7月に文書にてご審議、承認いただいたルート変更案等に基づき、別添のきんちゃんバス時刻表の通り、ダイヤ改正を実施する。 ・ダイヤ改正時期は、平成28年12月1日となる。 ・改正内容の概要については、時刻表の路線図面の左上に「変更のポイント」としてわかりやすいように掲載しており、全ルートの海南病院への乗り入れとそれに伴う北部ルート及び東部ルートの「歴史民俗資料館」バス停への停車、「くわしん弥富支店」バス停への南部ルート、東部ルートの停車、北部ルートの「蟹江警察署」バス停新設となる。 ・また、路線図面には、運賃などの情報のほか、「サイクル&バスライド駐輪場」の情報も掲載している。 ・うらの時刻表面には、近鉄弥富駅および佐古木駅、飛島公共交通バス蟹江線との乗り継ぎダイヤも掲載している。 ・ダイヤ改正の周知方法としては、10月23日(日)開催の「健康フェスタ2016」において、きんちゃんバスブースの掲示ポスターに、ダイヤ改正の情報を掲載する。 ・10月下旬～11月上旬頃の11月広報配布時に、新しい時刻表を同時配布する。これは全戸配布になる。 ・11月中旬～下旬頃に、弥富市ホームページに、ダイヤの改正案内、新し

	<ul style="list-style-type: none"> い時刻表を掲載する。 ・また、12月広報にダイヤ改正案内を掲載する。 ・以上で、議題(1)ダイヤ改正についての説明を終わる。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・12月1日からの時刻表について、変更点に関して目立つところに書いていただき、利用者にわかりやすい時刻表をつくっていただいた。 ・バスの車内にも「12月1日から変わります」という案内は出すのか？
事務局 (久野)	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の協議会が終わってから、掲示の内容のチラシを作らせていただき、三重交通さんに依頼させていただこうと考えている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・了解である。 ・それでは、この件に関してご質問、ご意見等はあるか。
渡邊委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・7月に書面協議が整ったとこの資料にも書いてあるが、書面協議が全員から承認をいただいたのか、例えば3/4以上の承認なのか等、内容がわかれば教えていただきたい。
事務局 (久野)	<ul style="list-style-type: none"> ・全員の委員の皆さんの賛同を得られ、承認いただいた。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・他にいかがか。
服部市長	<ul style="list-style-type: none"> ・私から付け加えさせていただく。 ・変更のポイントについて、海南病院への乗り入れだが、海南病院が6年かかって全面的な改装が行われた。今度は海南病院の玄関で乗降していただき、非常に利便性を考えさせていただいた。 ・「蟹江警察署」バス停については、蟹江警察署の建て替えに伴い、旧農業技術センターへ数年間、仮移転する。それに伴い、佐古木駅等ダイヤ改正をさせていただいたのが大きなポイントである。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・補足いただいた。 ・他によろしいか。
楠委員 (交通運輸産業労働組合協議会)	<ul style="list-style-type: none"> ・海南病院の正面までバスが乗り入れることは非常にありがたいと思う。待ち合い場所にベンチや屋根等の設備は市が設置されるのか、病院が設置されるのか、どうなっているのか。
事務局 (久野)	<ul style="list-style-type: none"> ・雨よけの屋根は海南病院さんが設置しているので置けない状態である。
楠委員 (交通運輸産業労働組合協議会)	<ul style="list-style-type: none"> ・待つところはあるのか。
事務局 (久野)	<ul style="list-style-type: none"> ・待つところはある。バスが着くところの前がカーポートみたいな屋根があり、通路状態で待つようになっている。座るスペースはない。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・バスが来たかどうかは、病院の中の待合からは見えるのか。
事務局 (久野)	<ul style="list-style-type: none"> ・見える。ただ、バスが来ても、中で待っていると少し距離があるので、間に合わないかと思う。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫しているようなところだと、病院の中にバスが来たというお知らせが入るような仕組みがあったり、新しい技術を使ってバスロケーションシステムを置いたりするところもある。そこまでいかななくても、病院だ

	<p>けだつたら何か工夫すればアナログな方法でもできるかもしれない。</p>
事務局 (久野)	<ul style="list-style-type: none"> ・病院の話なので、中で流しているのか、例えば弥富でも総合福祉センターだと「次のバスは何時です」みたいな放送はあるが、病院が流してくれるかわからないので、病院の事務局に確認させていただく。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・確かにタイミングも難しいところはある。 ・他によろしいか。 ・12月1日のダイヤ改正に備えて準備を進めていただきたい。

3.議題

(2) 各種調査結果について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・議題(2)各種調査結果について、事務局より説明をお願いします。
事務局 (久野)	<p>○資料説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料2の利用実態調査結果、資料3のバス停乗降者数調査結果(OD調査)、資料4のモニタリング調査結果(利用者アンケート)、資料5の無料お試し乗車券配布結果について、説明させていただく。 ・まず、資料2の利用実態調査結果について、平成28年8月までの状況を説明する。 ・乗車人員の推移についてだが、全てのルートをし合わせた1日平均乗車人員は昨年度よりも増加している。 ・各ルート別には、2ページに北部ルートの状況を、3ページに南部ルートの状況を、4ページに東部ルートの状況を整理している。 ・また、5ページにルート別乗車人員のまとめがあるのでご覧いただきたい。 ・平成27年度から平成28年度への1日平均乗車人員、1便あたり平均乗車人員ともに、南部ルートの休日を除き増加している。 ・また、6ページには、網形成計画における目標値との比較を整理している。 ・網形成計画における目標「1便当たり平均乗車人員の維持・増加」に対し、現状維持を目標としていた南部ルートも含め、計画策定時点から増加している。 ・また、「南部ルート」は現状を維持し、その他のルートでもこの増加傾向を維持できれば、概ね平成32年の目標を達成できると予測される。 ・次に、平成28年4月から8月までのバス停別平均乗車人員について、7ページから整理している。 ・7ページの北部ルートについて、「総合福祉センター」「イオンタウン」「楽荘団地」「喫茶ゴールド」「佐古木駅」「弥富市役所」の利用者が多くなっている。 ・8ページの南部ルートについて、「総合福祉センター」「イオンタウン」「近鉄弥富駅南口」「弥富市役所」「杉本クリニック」「いこいの里」の利用者が多くなっている。 ・9ページの東部ルートについて、「十四山総合福祉センター」の利用者が多くなっている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・次に、便別の乗車人員についてである。 ・10 ページの北部ルートについて、平日は1便と4便、8便の利用者が多くなっており、休日も概ね同様の傾向となっている。 ・11 ページの南部ルートについて、平日は6～8便と10便、11便の利用者が多くなっており、休日も概ね同様の傾向となっている。 ・12 ページの東部ルートについて、平日は2便、3便の利用者が多くなっており、休日も概ね同様の傾向となっている。 ・以上が利用実態調査結果となる。 ・次に資料3「バス停乗降者数調査結果」をご覧いただきたい。 ・調査は7/4（月）～7/9（土）の1週間、全てのバス車内にて、シール形式の調査票を配布する形で実施している。 ・2 ページに回収結果を整理しており、乗車実績に対し、全体で92.7%の回収率と、非常に高くなっている。 ・バス停乗降者数調査では、利用者の属性なども調査しており、3 ページ以降にその結果を整理している。 ・利用者の半数以上は75歳以上となっており、65歳以上の高齢者は約7割となっている。 ・ルート別にみると、75歳以上の割合は北部ルート、東部ルートで高くなっており、高校生以下の利用はほとんどが南部ルートとなっている。 ・次に、4 ページをご覧いただきたい。 ・利用目的については、「公共施設利用」が最も多く、「買い物」も多くなっている。 ・5 ページをご覧いただきたい。 ・バス相互の乗り継ぎ状況を整理している。 ・きんちゃんバス相互や、木曾岬町自主運行バスとの乗り継ぎが見られる。 ・次に、6 ページをご覧いただきたい。 ・バス停間移動について、移動の多いものを図で示している。 ・最も移動件数が多いのは、「杉本クリニック」から「近鉄弥富駅南口」への移動で、北部ルートや南部ルートでは、「近鉄弥富駅南口」や「弥富市役所」、「総合福祉センター」「イオンタウン」を中心とした移動が多く、東部ルートでは「鮫ヶ地」「十四山総合福祉センター」間の移動が多くなっている。 ・7 ページをご覧いただきたい。 ・バス停別乗降者数を整理しており、「近鉄弥富駅南口」や「弥富市役所」「イオンタウン」「総合福祉センター」「海南病院」の乗降者数が多くなっている。 ・以上がバス停乗降者数調査結果となる。 ・次に資料4「モニタリング調査結果」をご覧いただきたい。 ・モニタリング調査結果は、きんちゃんバス利用者を対象に、アンケート
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>調査を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3 ページをご覧ください。 ・ 属性についてだが、バス停乗降者数調査結果と同様に、高齢者が多くなっている。 ・ 4 ページをご覧ください。 ・ きんちゃんバスの利用状況としては、北部ルートが多くなっており、約 3 割の方は複数ルートを利用されている。 ・ また、利用頻度は約 9 割の方が週に 1 回以上利用されている。 ・ 5 ページをご覧ください。 ・ 昨年と比べた場合の利用頻度は、「増えた」方が半数近くいる。 ・ 利用目的は、「買い物」や「通院」、「公共施設への用事・利用」が多くなっている。 ・ 6 ページをご覧ください。 ・ 満足度は、半数近くが「満足」と回答しており、無回答を除くと 51.2%の方が「満足」されている。 ・ 網形成計画の目標では、利用者満足度の向上として、平成 32 年に、無回答を除いた値で 50.0%以上の「満足」を確保するものとしており、これを超える値となっている。 ・ 7 ページをご覧ください。 ・ 回数券、定期券、シルバーパスの利用状況については、回数券、定期券、シルバーパスの利用割合が昨年よりも増加している。 ・ サイクル&バスライド駐輪場の利用状況については、「無回答」のほか、「利用できることを知っていたが、利用したことはない」も多くなっている。 ・ 8 ページをご覧ください。 ・ 東部ルートの飛島公共交通バス蟹江線との乗り継ぎについては、「乗り継ぎができることを知っているが、乗り継ぎをしたことがない」が多くなっており、「乗り継ぎをしたことがある」は 3.3%となっている。 ・ 9 ページをご覧ください。 ・ バス停までの距離は、「徒歩約 10 分以内」が最も多くなっており、「5 分圏内」で見ると、半数以上の方が比較的バス停に近い位置に居住している。 ・ 今後のきんちゃんバスの運行維持、運行費用と利便性のバランスについては、「今のままでよい」や「便利にするためには、費用がかかってもかまわない」が多くなっている。 ・ 以上がモニタリング調査結果となる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 最後に資料 5「無料お試し乗車券配布結果」をご覧ください。 ・ 平成 23 年度以降毎年度実施している無料お試し乗車券の配布結果を整理している。 ・ 2 ページの配布結果をご覧ください。
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の無料お試し乗車券の利用枚数は 995 枚となっており、昨年度よりも利用枚数が減少している。 ・2 ページと 3 ページの配布期間中のきんちゃんバスの利用状況を見ると、全てのルートでは、昨年度と比較して利用者数が多くなっている。 ・4 ページをご覧ください。 ・無料お試し乗車券利用者の年齢層は、「15～64 歳（高校生除く）」や「65～74 歳」、「小・中学生」が多くなっており、昨年度と比較すると「小・中学生」が増加している。 ・5 ページをご覧ください。 ・無料お試し乗車券配布以前のきんちゃんバス利用の有無について整理しており、無料お試し乗車券を通じた新規利用者は、84 名となっており、昨年度と同程度の新規利用者がいた。 ・6 ページをご覧ください。 ・車の運転免許保有状況は、免許を持っていない方が多くなっている。 ・また、利用目的は「買い物・外食・娯楽」が多くなっている。 ・7 ページをご覧ください。 ・利用バス停は、「近鉄弥富駅南口」や「イオンタウン」「弥富市役所」「佐古木駅」「海南病院」で多くなっている。 ・以上、長くなったが、これで議題（2）各種調査結果についての説明を終わる。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ今、4つの調査に関して資料の説明があった。まず、資料2「利用実態調査結果」と資料3「バス停乗降者数調査結果」に関して、何かご意見、ご質問があればお願いします。 ・私から確認だが、資料3のバス停乗降調査は、全ての人が受け取ってくれて、回収が92.7%ということか。
事務局 (久野)	<ul style="list-style-type: none"> ・そうである。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・「利用目的」の中に帰宅という項目がない。例えば、病院に行った人が帰る時にバスを使った場合、「利用目的」はどれを選ぶのか。 ・もしかしたら、この調査票だと病院に行った人が帰りも病院に行った利用でバスを使ったという可能性が高い。来年から「帰宅」というのを入れてやろうか。
事務局 (久野)	<ul style="list-style-type: none"> ・先生が言われたように、この内容で答えが「帰宅」を入れるような形で考えていきたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの使い方として、行きはバスで行って、帰りは迎えにきてもらう、逆で、行きはいいバスの時間がないので家族に送ってもらって、帰りはバスで帰るというのがあったりするの、そのあたり使われ方を把握できる。 ・他によろしいか。 ・全体としては、利用者はだいたい伸びてきている。資料2の最初のグラフ、全ルートを見ていただくと、平成28年8月までだがぐっと伸びてきている

	<p>状況で、非常に喜ばしいことかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでは、資料4「モニタリング調査結果（利用者アンケート）」と資料5「無料お試し乗車券配布結果」に関して、何かご意見、ご質問あればお願いします。 ・また、私からだが、事前の打ち合わせの時には気づかなくて、本番で気づくことがいろいろあって申し訳ない。 ・資料4の7ページ、「サイクル&バスライド駐輪場利用状況」に関するアンケートを利用者に聞いたところ、「利用したことがある」という人が減った。それは良いとしても「無回答」が多い、「利用できることを知らなかった」というのは関心がない方々が結構多いということかと思う。確かに利用者は、今自分の利用形態ができていて、自転車の駐輪場があっても無くてもいいのかなど。一部、使っている方は便利を感じていると思う。この取り組みは、今後どうしていくという考えがあるのか。よりこれを拡張して前面に押し出していくのか、あるいは、はじめからある駐輪場を利用しているので、新たに整備する費用がかかるわけではないから、こういう使い方も出来るという補助的な施策として皆さんにお知らせしていくという程度の位置づけなのか、このあたりを確認したい。
事務局 (羽飼)	<ul style="list-style-type: none"> ・現状を維持しながらいきたいと考えている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・私が思った印象としても、同じようなアンケートの結果だし、あまり力を入れてやっていくところでもなく、そんなに苦労かけずにこんなサービスも快適性を高めるものひとつという感じで「ありますよ」ということを紹介していくぐらいのものでいいのかなと思う。そういう位置づけにあるのであまり気負わずに、「あまり功を奏していない」というような言い方はしないようにしていくといいかなと思う。 ・他にいかがか。
木全委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング調査の9ページに「今後のきんちゃんバスの運行維持について」ということで、昨年に比べて「わからない」「無回答」が非常に増えているが、こういう回答に対する評価はどう考えているのか。
事務局 (羽飼)	<ul style="list-style-type: none"> ・「わからない」というのは、確かにこのままではいけないというところもあるが、大きな問題はないという捉え方もしている。また、今後もし気づけば、別の形の設問を用意するなど検討していきたいのでよろしくお願いします。
木全委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・何がわからないのか、ここら辺が記入者側で意図が異なっているのではないか。
事務局 (久野)	<ul style="list-style-type: none"> ・設問の中の意味がわからないのかということもあるので、もう一度来年やるまでに実際のアンケートをわかりやすいかどうかという観点からも見直してみたいと考えている。
木全委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・お金がかかるとどうですかという意味合いだね。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そういう意味で問いかけた時に「わからない」という意味にとれる。こ

(久野)	の聞き方だと。ただ、意味もわからないと言われた時に、この回答では違いを把握できない。
木全委員 (公募委員)	・もう少し質問をわかりやすいようにすると、より具体的に反応しやすいかもしれない。
事務局 (久野)	・ただ、絞ってしまうと全体のことが聞けなくなってしまうので、その辺の調整をかけてみる。
山崎議長	・他にいかがか。 ・今の調査結果に基づいて、今年度の事業の評価をまとめていただきたい。よろしく願います。

3.議題

(3) 十四山地区住民アンケートについて

山崎議長	・議題(3)十四山地区住民アンケートについて、アンケート調査案が本日事務局から提示されている。このアンケート調査に関して皆さんからご審議いただきたい。事務局より資料の説明をお願いします。
事務局 (久野)	○資料説明 ・資料6の十四山地区住民アンケートについて、説明させていただく。 ・網形成計画において目標を達成するために行う事業として位置づけた「東部ルートの運行方法の見直し」に係り、利用者数の少ない東部ルートの運行改善を検討するための基礎資料とするため、十四山地区に居住する住民を対象にアンケート調査を実施したいと思う。 ・調査は十四山地区内に居住する15歳以上の住民1,000名を対象とし、12月ごろに郵送配布、郵送回収の方法で実施する。 ・次の「きんちゃんバス 東部ルート に関するアンケート調査」と書かれた紙をご覧ください。 ・おもて面は案内文となっており、そのうら面には東部ルートの現状を整理している。 ・この1枚は、アンケート票とは別紙とし、対象者の手元にも残る形で配布したいと思う。 ・次のページからがアンケート票となる。 ・問1は属性把握となっており、問1-5で利用駅を聞いている。 ・これは東部ルートは、蟹江駅へアクセスする飛島公共交通バス蟹江線との乗り継ぎも考慮したダイヤ編成となっているので、利用駅の実態を把握するための設問となっている。 ・次に2ページをご覧ください。 ・ここでは、先の案内文のうら面記載の東部ルートの現状とあわせて見ていただき、問3において、「現在の運行経路」と「新しい運行経路案」のどちらが良いかを回答いただくものとなっている。 ・新しい運行経路案においては、現在、利用のほとんどない区間の運行を廃止することで、できる限り運行本数を増やす方法として、東部ルートの「ピアゴ十四山店」「五斗山」間の運行を廃止し、「総合福祉センター」と「佐古木駅」間を往復運行に変更するものである。

	<ul style="list-style-type: none"> ・これにより、現在巡回運行として、1日あたり右回りで3便、左回りで2便の計5便運行していたものを、計8便まで増便することが可能となる。 ・現在の運行時間帯と運用車両台数をなるべく変えず、経費を増加させない方法として考えたものとなっている。 ・最後に、4ページをご覧いただきたい。 ・ここでは、弥富市内でよく利用する施設や利用したい施設を回答していただくものとなっており、バス停の見直し等の参考にしたいと考えている。 ・以上で議題（3）十四山地区住民アンケートについての説明を終わる。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ今説明があった「十四山地区住民アンケート」に関して、ご意見、ご質問等あればお願いします。 ・この東部ルートアンケートには具体的な改変案が提示されていて、アンケート調査なのであまり漠然としたことを聞いてもきちんとした答えが返ってこないの、具体的な案を提示してアンケート調査をするやり方が正しいと思う。ここに至る経緯はどんなふうか。第1回協議会は私も忘れてしまっている。この件に関してはどんな話をしたのか。
事務局 (久野)	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の最後の協議会の時に、事務局側でいろいろ検討させてもらって、東部ルートについてどうやって改変していけば利用しやすくなるかを基に、今回のアンケートを作らせていただいた経緯がある。 ・東部ルートについてのアンケート調査票の本人さんの手元に残る裏面を見ていただくと、先ほど削らせていただくとお話をさせてもらった「ピアゴ十四山店」から「五斗山」は、前年度においても1日平均乗車人員が0.1に満たないという状況である。前回の時も三重交通さんとも確認をしてどれだけの本数がこれをなくしたらとれるかということで、現状、鯉ヶ地から総合福祉センターまでの乗降数が一番多いので、総合福祉センターへの行き帰りの便が増えた方が利便性が上がるのではないかとということで往復便を考えさせていただいた。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事務局案に関しては、この会では初めて見ていただく。事務局で十分に考えられて、利用実態を参考にしながら考えられたルート案である。ルートの改変をここで審議するわけではなくて、事務局が持っている案を具体的に示しながらアンケート調査を実施していく。このルート変更案も含めて、質問、意見等あればお願いします。
事務局 (久野)	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局から皆さんにお聞きしたいことがある。 ・3ページに運行イメージとして、現行の運行経路と新しい経路のどちらが良いかという問いだが、「1.現在の運行経路が良い」「2.新しい運行経路案が良い」「3.わからない」と書かせていただいた。先ほどの質問にもあった「わからない」だけだと、何がわからないのかということも出てくると思う。ただ、事務局側としては、世帯に一人届けば同じ世帯には届かないようにはするつもりだが、必ず乗っていない世帯の方にも届くので入れさせてもらった。これ以上スペースとして詳しく書くのが難しいので、この書き方でよろしいか。

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> • いかがか。
大木副市長	<ul style="list-style-type: none"> • 3ページの書き方では、あまりイメージとしては同じように見える。どこかのバス停1つか2つを取り上げて、左に行く、右に行く、結果的には倍になる。そういうことを書かないとわからない。左側を見ればわかるけど、これと一致させるようにするには現行の運行経路だと1日に2回しかないのが4回いけるということを書いてあげるとわかりやすい。一部抜けることについてはデメリットである。 • 本文の質問事項の現在の運行経路、例えば鮫ヶ地でも福祉センターでもいいが、右に行くのに1日2便しかない、左に行くのには3便。これが下だと、4便は最低ある。そうすると倍になる。それを考えると、これだけ見たらイメージが湧かない。
事務局 (久野)	<ul style="list-style-type: none"> • スペースを都合して、そのところに言葉と方向を入れられるように工夫させていただく。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> • よろしいか。
佐野委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> • 馬ヶ地の1日平均乗車人員が0.2だが、いつも利用される方はバス停で待っていてらっしゃる。馬ヶ地の場合、バス停が前の方に設置されている。そこが今、工場が前にあり危ない。皆さんの話を聞くと、遠いからもう少し真ん中のあたりに変えていただくと良い、もしくは2ヶ所ぐらいにさせていただきたいという話を聞く。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> • 今の話は、直接アンケートに関するものではないと思うが、事務局で情報として押さえていただき、今後検討するにあたって考えていく部分かと思う。 • 事務局から何かよろしいか。
事務局 (久野)	<ul style="list-style-type: none"> • 馬ヶ地に工場があるのか？
佐野委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> • 今、工場ができています。トラックが結構出入りしていて危ない。
事務局 (久野)	<ul style="list-style-type: none"> • 現地を確認させていただく。
佐野委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> • 昔から相談しているのは、信号よりも北が多い。変更できるなら例えば馬ヶ地の神社とかお寺があるところにしていただきたい。
事務局 (久野)	<ul style="list-style-type: none"> • 今後、皆さんで検討する時にということで、申し訳ないが、お願いする。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> • 他によろしいか。
楠委員 (交通運輸産業 労働組合協議会)	<ul style="list-style-type: none"> • 新しい運行経路案についてお聞きしたい。 • 佐古木駅から総合福祉センターの所要時間と、すずきこどもクリニックは現状のバス停位置から変わるのかどうかをお聞きしたい。
事務局 (久野)	<ul style="list-style-type: none"> • すずきこどもクリニックについては、区間変更になった場合、どこがバスの実際の運行について通りやすいかということで動かしたりするのも今後検討に入らせていただきたいと思います。現段階ではわからない。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> • 事務局では、こういうルート案をもっていて、今回はまず住民に問うと

	<p>いうことである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他にいかがか。
塚崎委員 (交通対策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・このあたりの地理に詳しくないので聞くと、十四山地区というのは3ページの運行経路でいうと、どこからどこまでの範囲なのか教えてもらいたい。これ全体なのか？どここのバス停からどこまでというのがあるのか？
事務局 (久野)	<ul style="list-style-type: none"> ・鮫ヶ地から海南こどもの国北というところで線を引いていただいたぐらいがおおよそ十四山地区の範囲である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・この図の真ん中あたり、上の佐古木駅から降りてきたところに「鮫ヶ地」というバス停がある。そこから下の「海南こどもの国北」…。
事務局 (久野)	<ul style="list-style-type: none"> ・「海南こどもの国北」までに線を引くと違うところが入ってくるかなというぐらいかな。
塚崎委員 (交通対策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば「ピアゴ十四山店」の周辺に住んでいる方には、このアンケートはされないのか。
事務局 (久野)	<ul style="list-style-type: none"> ・する。「ピアゴ十四山店」のところでも…。
塚崎委員 (交通対策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・真ん中あたりが十四山地区？
事務局 (久野)	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアゴ入ってJA支援センターも旧十四山で、すずきこどもクリニックまで入ってもらったぐらいの…。
木全委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・十四山地区の住民を対象にすることだが、旧弥富との境にいる人もいるかもしれないので回答を限定していいのか。旧弥富の住民の人も近くにいるから対象にするべきではないか。
塚崎委員 (交通対策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・案として、廃止で赤で囲まれているところが十四山地区ということか。
事務局 (久野)	<ul style="list-style-type: none"> ・そうである。喫茶ゴールドの東にちょっと行ったところぐらいまでが旧弥富である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・塚崎さんがおっしゃりたいのは、十四山地区の住民だけを対象としているけど、十四山地区と旧弥富の境目、旧弥富に住んでいる方々もこの路線は十分に関わっている。その方々にはとらないのかという意味なのか。
塚崎委員 (交通対策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・そうである。地区内の1,000名となっているので、どのあたりが入るのかイメージが湧かなかった。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・いかがか。
事務局 (羽飼)	<ul style="list-style-type: none"> ・お手元にある大きな地図を見ていただきたい。 ・「平成28年12月1日よりきんちゃんバスの運行ダイヤが変わります」と書いた面の方である。地図をご覧くださいと、「ピアゴ十四山店」バス停から南の方に「すずきこどもクリニック」バス停がある。これを一直線上に引いたあたりの右側が十四山地域となる。左側が旧弥富地域に入る。地形的に主に旧弥富地域には「小笠原クリニック」から「喫茶ゴールド」を通るバス路線があり、その間については優良農地が並んでいるところとなる。旧弥富地域の方に与える影響はかなり少ないと踏んでいる。

山崎議長	・ よろしいか。
佐野委員 (公募委員)	・ 三百島が入っていない。キンプルの北側の駐車場…。
事務局 (羽飼)	・ 地区名はたくさんあるが、全部の地区が出ているわけではない。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ おそらく、対象としている東部ルートは旧十四山の方々が中心になって使っているところである。アンケート調査の図面だと北部ルートが入っていないからわかりづらいが、北部ルートと重ねてみると旧弥富地域の方々は北部ルートを使っているだろうということである。 ・ 他によろしいか。 ・ 少し気になったのが、3ページの具体的な案を見せないと皆さん実感が湧かないので必要だが、逆に一方でここまで具体的なものを見せた時に「あれどうなった?」「こう変わるんだ」と皆さん思いこんでしまう危険性もあるかと思う。住民の皆さんが新しい運行経路案が良いと言われた時に、この経路案はほぼそのままここで協議をして、道路管理者それから公安さんと協議が整えばこの通りいけるという確証を持てるようなルートなのか? 微調整は入ってくるはずだよね。
事務局 (久野)	・ そうである。
山崎議長	・ どこかにそういうことを書いておいた方がいいのか。「このアンケートの結果を受けてこの通りに反映されるとは限りません」みたいなことを書いておいた方がいいのか、皆さんどう思われるか。住民代表の方々、こういう路線図のアンケートを見せられて、こういうふうになるんだと思ったりもする…細かい話も出てきたりして。
事務局 (久野)	・ 3ページの下のところ、「このルート案についてはあくまでも案であって、実際にこのルートにすぐに変わるというわけではございません」と一言入れさせていただいた方がよろしいか。
山崎議長	・ 何かそういった但し書きがあるといいかなと思う。
服部市長	・ 例えば利用の少ない区間という形の中では、今0.1という実態を示しながらアンケート調査なのでこのような方法を検討していることを示すが、とにかく無くなるということは間違いない。アンケートの中に現状の利用状況は記載できないのか?
事務局 (久野)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ここを読んだ時にすぐに把握はできない。これは別紙である。 ・ 一度、この中身をもう少し見やすくここの中に入れて、ページの関係もあるのでどこまでできるかわからないが、事務局側で検討して再度次回の時に十四山地区のアンケートの案を出させていただきたいと思うが、よろしいか。
山崎議長	・ 日程的に大丈夫か。
事務局 (羽飼)	・ 日程はずらす。
山崎議長	・ 集計やその辺の作業は大丈夫か。

事務局 (羽飼)	・年度内でという考え方をやめるしかない。
事務局 (久野)	・かなりここからいじる話になるので、それについて皆さんにお聞きした方がいかかと思っている。
山崎議長	・今いただいた意見からすると、それほどいじる話でもないような気もする。細かい数字を入れたり、もう少し解説を加えてとかそんなところかと思う。
服部市長	・数字が一緒にいくわけだから、半分以上は理解はされると思う。しかし、無くなるということは別の問題である。先生のアドバイスも含めて、アンケート用紙について検討させていただく。
山崎議長	・いかがか。皆さん、もう一度確認するべきだと思われるか。
事務局 (久野)	・よろしければ事務局で整理してということでもよろしいでしょうか。
山崎議長	・いろんなスケジュール的なものもあるし、こういった調査はとても大事なことでぜひやるべきことだと思っている。今、いろんな意見が出てきた。私からもいろいろ意見を出したが、根本的に変えなくてはいけない部分ではないと思う。このあと、最終的に修正完了して印刷原稿ができるタイミングはいつぐらいか？もし、何らかの形で、電話なりファックスなり、皆さんから今後も意見を集めるとすれば最終はどこ？修正内容にもよるだろうが。
事務局 (久野)	・11月中旬から下旬ぐらい。
山崎議長	・11月中旬ぐらいには原稿を完成させておくぐらいでよいか？
事務局 (久野)	・意見が11月中旬ぐらいまでに出そろえばいい。
山崎議長	・了解である。 ・原則、基本はこの形で、もし何か気づいた点があったら、それが完璧に反映されるかどうかはさておき、意見を事務局にさせていただく。あとは修正して完成させていくのは事務局一任ということで、基本としてはこの形のアンケート調査、こういった具体的な案を示していきながらやっていくアンケートである。これを実施するというに関してご承認いただけるか、ご審議いただきたいと思います。問題なくこの調査を実施していくことに賛成の方は挙手をお願いします。
委員一同	(異議なし)《承認》
山崎議長	・承認された。 ・私もいろいろ考えていきたいと思う。もし意見があれば11月中旬ぐらいまでに事務局に寄せていただきたいと思います。よろしく願います。

3.議題

(4) その他

山崎議長	・議題(4)その他について、事務局から何かあるか。
事務局	・現在、東部ルートの運行見直しの検討を進めようとしているところであ

(羽飼)	<p>るが、次の段階においては、運行経路が最も長く、近年利用者数が伸び悩んでいる南部ルートについても検討を進めたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種調査や住民意向を踏まえ、ある程度方向性が見えてきた段階でこの協議会においてご議論いただきたいと考えているので、よろしく願います。 ・愛知県交通対策課様からお話があるので願います。
塚崎委員 (交通対策課)	○資料「エコモビリティライフ 県民の集い2016」説明
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ぜひ、興味のある方はご参加いただきたいと思う。よろしく願います。 ・ここまでいろいろ報告とアンケートの中身についての議論があった。全体を通して何か言っておきたいことがあれば願います。 ・議題はこれですべてである。 ・進行を事務局にお返しする。
事務局 (羽飼)	<ul style="list-style-type: none"> ・次回協議会は12月頃の開催を予定している。日程が決まり次第ご案内させていただきますので、よろしく願います。 ・以上をもって、第2回弥富市地域公共交通活性化協議会を閉会する。今後ともご協力を賜るようお願い申し上げます。
	以上